

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度		
事業番号	23	事業名	資源回収拠点事業 （大事業名） 清掃センター運営事業		担当課		環境課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		4-2-1-1 資源回収拠点事業		
					決算書ページ		160 ~ 一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物		事業開始の背景	平成11年度策定の第4次長久手町総合計画において、清掃センターの建設を掲げる。平成19年度清掃センター（ながくてエコハウス）開館、平成29年度出張ながくてエコハウス開設、令和4年度西部及び東部ながくてエコハウス開設		
		政策	2	暮らして心地よい生活環境の形成					
		施策	(2)	ごみの減量化・資源化					
	その他	開始年度		平成19年度		市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可	
		終了予定年度		☐ 年度 ☒ 未定					
		根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
		関連計画		一般廃棄物処理基本計画					
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）			
		①事業概要 （どんな取組を行うのか）		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）	
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 全員		【アクションプラン指標】 資源回収拠点設置数 【その他の指標】 資源化率		市民の資源分別意識、ごみそのものの発生抑制行動が醸成される。 （成果指標名） 資源回収拠点設置数		大 事 業 共 通 市民1人ひとりがごみに関する課題について自分ごととして捉え、分別やごみの発生抑制を当たり前のこととして取り組むようになる。	
【事業内容】 市内に4か所設置している清掃センターを運営し、資源回収ステーションでの資源回収及び再資源化、リユース倉庫での不用品（制服、子ども服、図書等）の回収配布を行うことで、市民が資源を分別しやすい環境を整える。									

活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度		
活動指標	1	資源回収拠点設置数	箇所	基準値	2	見込	4	4	4	4	4	
				目標値	4	実績	4					
	2	資源化率	%	基準値	－	見込	20.8	20.6	20.7	21.0	21.2	
				目標値	－	実績	19.7					
	3			基準値		見込						
				目標値		実績						
	4			基準値		見込						
				目標値		実績						
	事業開始からの経緯											
	平成19年度にながくてエコハウスを開設以降、市民に資源を拠点まで出しにくる意識や習慣が根付き始めている。さらに市民が資源を分別しやすい環境を整えるため、平成29年度には長湫南部地域に出張ながくてエコハウス、令和4年度には西部と東部にそれぞれ出張ながくてエコハウスを増やし、市内に市が管理運営するエコハウスを徐々に増やしてきた。その結果、利用者数も徐々に増え、市民の資源化意識が定着した。											
	R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	リユースメニューとしてジモティー及びおいくらと連携開始したことにより、市民が直接エコハウスに来なくてもネット上でやり取りできるようになった。											
エピソード												

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		資源回収拠点設置数		H19 年度		H29 年度		【現状】 R5 年度		R10 年度		R15 年度		
				1		2		4		4		4		
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					市内の東西南北にバランスよく資源回収拠点を設置することを目標としているため。						
	評価の理由、分析													
	これまでさまざまな施策を展開して目に見えた効果が出ており、エコハウス利用者も年々増えているため、市民のニーズは高く、今後も改善しながら継続していくべき事業であると評価している。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		R4に設置した市が管理運営するエコハウス4か所で完了とし、それを継続して管理運営していくため。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度			
		A	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算		
			C. 縮小 D. 廃止			13, 822	12, 846	12, 063	11, 432	11, 882		
		理由			特定財源	合計額						
		R7年度はR6年度と同等の内容の施策を進めるため。				(内 国費)						
						(内 県費)						
						(内 諸収入)						
						(内 その他)						
		積算額			一般財源	13, 822	12, 846	12, 063	11, 432	11, 882		
		ほとんどが管理費のため、R6予算とほぼ同等。			R6年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R5年度予算額）＞							
消耗品費 858千円（123千円） 燃料費 23千円（28千円） 食糧費 3千円（3千円） 光熱水費 978千円（976千円） 修繕料 210千円（210千円） 通信運搬費 55千円（78千円） 火災保険料 8千円（8千円） 自転車防犯登録抹消手数料 3千円（3千円） 浄化槽法定検査手数料 6千円（6千円） 施設管理業務委託 9, 515千円（9, 218千円） 清掃委託 448千円（495千円） 空調機器保守点検委託 175千円（171千円） 消防設備点検委託 26千円（26千円） 衛生害虫防除委託 30千円（30千円） 浄化槽保守点検委託 58千円（45千円） 植栽維持管理委託 1, 067千円（1, 067千円） 放送受信料 13千円（0千円） A E D賃借料 52千円（52千円） マット等使用料 294千円（307千円）												